



# 今まで無駄だった時間がドキドキの時間に

はじめに、私たちは「無駄なようで無駄じゃない」というテーマから、「無駄なように思えている時間を、無駄じゃない時間にする」というコンセプト立て、企画を考案しました。

青春漫画のように、理想の異性と運命的な出会いをしたいと考える人は多いと思いますが、ただ待っているだけでは、なかなか訪れません。また、合コンや婚活パーティーに、参加するのが苦手な人も多くいます。

そこで、私たちが考えたのは、「運命の出会いを育むソフトウェア」です。理想の相手をコンピュータが検索し、その相手との出会いの場を提供するため、二人の出会いをさりげなく演出します。そして、二人の出会いには、通勤、通学時間などの無駄な時間を利用します。

このシステムを利用すれば、無駄なように思えていた時間が、あなたをドキドキさせる時間、そして異性と話すことが苦手な人でも、理想の相手と出会うきっかけを得られる時間に変化します。

「運命のAI」は、あなたの無駄な時間をドキドキする時間にさせ、新しい恋愛のきっかけを与えます。



#### 新しい出会いのきっかけ

出会いのきっかけはどのようなものがおおいのでしょうか。近年、主な出会いの場として25%の人が、「同じ会社や職場」、18%の人が「同じ学校やクラス」、14%の人が「友人の紹介」を挙げています。一方で、「合コンや婚活パーティーなどのイベント」での出会いは3.5%の人しか挙げていません。他にも出会いの場として、「結婚相談所」が挙げられますが、入会金や月会費が高いことや、実際に店舗まで行く必要があることなどが理由で、利用に抵抗がある人も多くいます。

また、好きな人へのアプローチが自分からできないという人が、異性と付き合った経験がない男性では49.9%、異性と付き合った経験がない女性では53.7%と約半分近くいます。

上記のデータから、職場に異性が少ない人や、学生時代に異性の友達があまりいない人にとっては、理想の相手と出会うきっかけが非常に少ないことがわかります。また、理想の相手がいても自分から声をかけることのできる人は多くありません。

そこで、私たちは理想の相手と出会うきっかけが少ない人や、合コンや婚活パーティーなどへの参加が苦手な人に、異性との出会いの場を与え、お互いのコミュニケーションの手助けができないかと考えました。

\*ブライダル総研 "恋愛観調査2014" http://bridal-souken.net/data/ra/renaikan2014\_release.pdf



# ターゲット

- 合コンや婚活パーティーへの参加が苦手な人
- 職場に異性が少なく出会いがない人



合コンとか婚活 パーティのイベント は苦手 ....

女性ばかりの職場だから男性と出会う機会がない....





#### 普段味わえないロマンチックな運命の出会いを演出

### ユーザ側の動き

- ・システムを利用し、理想の異性とマッチングしてもらう。
- ・理想の異性に会うために、さまざまな場所に行く。
- ・相手に近づくと、メッセージを送れる。
- ・相手と接近した回数に応じて送れるメッセージが変化していく。

#### システム側の動き

・ユーザーの理想に近い相手をマッチングさせる。ただし、相手の情報はユーザーには知らせない。

·ユーザーである男女をさりげなく近づけるように、生活パターンや趣味に合うイベントなどから会える場所を 提案する。



二人の距離を少しずつ縮める出会いの演出

# 利用の流れ

STEP

# アプリをダウンロードし、プロフィールを設定

・このとき、自分のプロフィールに加えて、理想の相手に求める条件も同時に設定しておきます。



STEP

システムが理想の条件に合う異性を選出し、 男:女=1:1 でマッチング

・このとき、二人が出会えるようにお互いの生活圏が近い人を選出します。

この二人はピッタリ!

年齢 26歳

曖昧 猫が好き

職者 大阪在住

……

「無難 独が好き

STEP 3

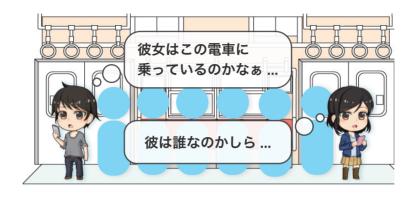
# システムが二人の行動パターンや好みを分析

- ·AIがユーザの生活パターンを分析します。(「出勤時に何時発の電車を利用するか」など)
- ·会える可能性のある場所や時間をAIが提案します。
- ・システムは共通の趣味に関するイベントへの参加なども提案します。 (例えば、共通の趣味が「猫」であれば、「猫カフェ」などをAIが提案)



# 男女はシステムの提案に合わせて行動

- ・システムは出会いの場を提案しますが、その場所に行くか行かないかはユーザー次第です。
- ・相手の顔や身長、体形などをお互い知らないため、相手が来ているか来ていないかはわかりません。



STEP 5

## 男女が半径50m 以内に近づくと、 相手にメッセージが送れるようになる

- ・このとき、相手が近くにいるという情報以外はなにもわかりません。
- ・一回目の出会いでは、スタンプのみでの会話しかできません。
- ・メッセージを相手に送れる回数も決まっています。



STEP 6

# 3~5を繰り返し、相手と出会いを繰り返す

- ・相手と出会う回数が増えれば増えるほど、送れるメッセージの種類が増えていきます。
- ・出会いが増えるほど、コミュニケーション方法もステップアップしていきます。



1:スタンプのみ

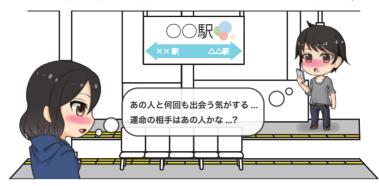
2:スタンプの種類が増える

3:ショートメッセージが送れるようになる

# TEP 7

#### 次第に相手のことがわかっていき、相手と実際に対面で会う

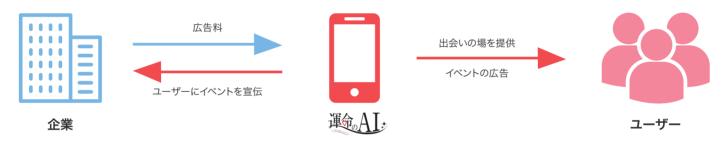
- ・コミュニケーションをある程度行っていくと運命の相手が誰か次第に分かってきます。
- ・どの段階で、どのタイミングで運命の相手に話しかけるかはユーザ次第です。



もし、相手に名乗りたくない場合や別の相手を探してほしいときには、現在のマッチングを停止した後、別の相手を再検索することもできます。



# ビジネス展開



各社のイベントや店舗情報などを送ることで「運命のAI」を広告として利用し、得られたイベントや店舗の情報をもとに、ユーザーに出会いの場を提供します。



#### 無駄な時間を利用して運命の相手と出会う

本システムは、いままで無駄だと感じていた時間を使って、運命の人と出会うきっかけを提供します。また、AIが異性との交流を手助けしてくれるため、恋愛経験が少ない人でも利用することが出来ます。

自分が求める理想の相手は、昨日、街中ですれ違った人かもしれません。理想の相手がすぐそばにいるのに、その人と出会うきっかけがないのはとてももったいないことです。「運命のAI」を使えば、日常では出会うことのなかったであろう人と出会うことができます。「運命のAI」を使って、運命の相手を見つけてみませんか?

現在、このシステムは実装中です。